



地域とともに進める「くすのきキッズ」の教育

校長 増田 好範

千寿本町小学校は、明治 33 年に創立された千寿第一小学校（現在の校地）と昭和 15 年に創立された千寿旭小学校（現在の学びピア）が統合され、平成 3 年に創立された学校です。令和 2 年度には、創立 30 周年を迎えました。

学区域は、江戸時代からの長い歴史をもつ日光街道千住宿に当たる場所で、地域の方々は「子供たちは地域で育てる」という昔からの思いをもち続け、千寿本町小学校は、そんな地域の方々の理解・協力を得て、日々の教育活動を進めています。

基礎学力の確実な定着を図るとともに、特色ある教育活動として ①4つの「あ」の活動（あいさつ・あつまり・あとかたづけ・あたたかいことば）＋2つの「あ」（あんぜん・あんしん）、②自主的な生活態度をはぐくむ「本町小のよい子」の取り組み、③「難聴理解教育」「地域学習」「本町チャレンジスポーツ」を軸とする「学校 2020 レガシー」の取り組みなどを推進しています。子供たちは、本校の教育目標「つよく かしこく あたたかく」を目指して、本町小の4つの「あ」と2つの「あ」（あんぜん・あんしん）を心がけ、毎日、元気に学校生活を送っています。

令和 4 年度の学校経営では、～「新しい授業の創造」と「伝える熱意・伝わる誠意」で、児童の「やる気・本気・根気」を引き出す学校づくり～を重点テーマに、コロナ禍にあっても児童に知・徳・体の確かな力を育み、保護者・地域に安心感と共感をもっていただける教育活動を展開していきます。教職員が創造的な授業づくりに挑戦するとともに、児童に、また保護者・地域に「伝える、伝わる」の意味を考え授業や生活指導の実践を重ねていくことで、児童も教師も成長を実感できる学校づくりを実現できるように努めていきます。

社会状況は、感染症陽性者数が下がりきらず、先行きが見通せない中ではありますが、この 2 年間で培ってきた対応力をもとに、ICT 環境も十分に活用して、「集合しなくても一体感がもてる、直接経験しなくても別の方法で実感できる教育活動」の更なる開発と充実を目指します。また、直接的な体験活動・交流活動も実施できるように、例えば縦割りのさわやか班活動など、感染拡大状況の波の合間を見通した集中実施も検討していきます。

